

大会名 Competition	第70回秋田県高校総体 女子決勝
NO. M-3	Year Month Day Time 2024 年 6 月 4 日 12 : 15
場所 Place	CNAアリーナ★あきた



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB										
湯沢翔北	<table border="1"> <tr><td>14 1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>26 2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>16 3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>22 4th</td><td>20</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	14 1st	17	26 2nd	16	16 3rd	16	22 4th	20	OT		秋田中央
14 1st	17											
26 2nd	16											
16 3rd	16											
22 4th	20											
OT												
78 ○		69 ●										

Crew Chief
佐藤 匠
Umpire 1
田中 直幸
Umpire 2
工藤 美香
テーブルオフィシャル: Table officials
秋田西 (女子)

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	✓	草 彌	こまち	9	3	0	0	1	4	×	目 黒	結 子	CAP 19	0	9	1	3
5		佐々木	絵芽央	-	-	-	-	-	5	×	野呂田	凧	30	3	10	1	3
6	×	山 本	亜 季	6	2	0	0	2	6	×	佐 藤	心 亜	6	0	3	0	0
7		阿 部	未 鈴	-	-	-	-	-	7	×	淡 路	真 生	2	0	1	0	2
8	×	佐 藤	晶 那	16	0	8	0	3	8	×	後 藤	凜 香	12	2	2	2	0
9		本 庄	永 遠	-	-	-	-	-	9		遠 間	莉 愛	-	-	-	-	-
10		中 田	歩 花	-	-	-	-	-	10		土 谷	愛 美	-	-	-	-	-
11	✓	鈴 木	奈 奈	0	0	0	0	0	11	✓	奈 良	璃 音	0	0	0	0	0
12	×	武 田	知 花	21	3	5	2	3	12		遠 藤	真 倅	-	-	-	-	-
13	×	紀 本	心 菜	7	1	2	0	3	13		菊 地	萌 那	-	-	-	-	-
14		宮 野	想 来	-	-	-	-	-	14		赤 沼	雅 桜	-	-	-	-	-
15	✓	柿 崎	愛 泉	0	0	0	0	0	15		熊 谷	実 鞠	-	-	-	-	-
16		戸 堀	愛 花	-	-	-	-	-	16		野呂田	唄	-	-	-	-	-
17		名 和	真緒里	-	-	-	-	-	17		佐 藤	里 奈	-	-	-	-	-
18	×	近 藤	愛 莉	19	0	6	7	2	18		齋 藤	音 々	-	-	-	-	-
19		石 川	美 羽	-	-	-	-	-	19		佐々木	杏 奈	-	-	-	-	-
20		須 田	緑	-	-	-	-	-	20		渡 辺	弥 親	-	-	-	-	-
21		川 辺	桃 子	-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
コーチ		樋 渡	真 樹						コーチ		門 間	義 範					
アコチ		齋 藤	良 樹						アコチ		勝 田	瞳 子					
合 計				78	9	21	9	14	合 計				69	5	25	4	8

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は昨年度と同カード、1月の県新人優勝の湯沢翔北と昨年度の覇者で連覇を狙う秋田中央の対戦となった。

湯沢翔北はマンツーマン、秋田中央は1-3-1のゾーンで試合に入る。取られては取り返す展開が続く両者譲らなかったが、両チームともまだ成功のなかった3Pを残り1分のところで秋田中央#5野呂田が決める。その後#7淡路がリバウンドからのゴール下を決め、秋田中央の3点リードで1Qを終える。

湯沢翔北14-17秋田中央で始まった2Qだったが、湯沢翔北は立ち上がりからの連続得点で23-17と主導権を奪う。秋田中央も#6佐藤のゴール下、#4目黒のドライブで追いかけるが、交代で入った湯沢翔北#4草彌が2本連続で3Pを沈めてこの試合最大の13点のリードを奪う。しかし、昨年の覇者・秋田中央もここでひるまず#4目黒がドライブを決めると、#6佐藤がオフェンスリバウンドを取りディフェンス3人をかわしてゴール下を沈め7点差まで追いついたところで前半が終了した。

後半も両チームディフェンスを変えず、一進一退の攻防が続いた。残り4分で湯沢翔北#12武田がもらった3Pファウルを皮切りに再度12点差までリードを広げ、残り2分で秋田中央が後半1回目のタイムアウトを請求。その後秋田中央#8後藤が3PとFT2本を決め、7点差で最終クォーターを迎える。

4Q開始、湯沢翔北は#18近藤、#6山本が得点し、残り1分半で秋田中央が後半2回目のタイムアウトを取るまで反撃のムードを許さなかった。タイムアウト明け秋田中央#4目黒がドライブからのエンドワンを決め73-67と食い下がったが湯沢翔北#8佐藤がジャンプシュート、#13紀本が3Pを沈めて反撃を許さず、78-69で試合終了。

2Qからリードを守った湯沢翔北が2年ぶりの優勝を飾り、インターハイ出場の切符を掴んだ。